

製品名: MEK7 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe86956**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,FC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:50-1:200,FC 1:50-1:200
分子量	Calculated MW:48 kDa; Observed MW:48 kDa

抗原情報

遺伝子名	MEK7
別名	MEK; MKK7; JNKK2; MEK 7; MAPKK7; PRKMK7; SAPKK4; SAPKK-4
遺伝子 ID	5609
SwissProt ID	O14733
免疫原	ヒト MEK7 の合成ペプチド

背景

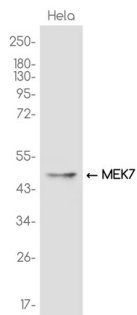
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、MAPキナーゼキナーゼファミリーに属する二重特異性タンパク質キナーゼです。こ

のキナーゼは MAPK8/JNK1 および MAPK9/JNK2 を特異的に活性化し、MAP3K1/MEKK1、MAP3K2/MEKK2、MAP3K3/MEKK5、MAP4K2/GCK などの MAP キナーゼキナーゼによってリン酸化・活性化されます。このキナーゼは、炎症性サイトカインや環境ストレスに対する細胞応答を媒介するシグナル伝達に関与しています。選択的スプライシングによって、複数の転写産物バリエーションが生じます。[RefSeq 提供、2014 年 7 月]

研究分野

-

画像データ



MEK7 ウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用した HeLa 細胞抽出物のウェスタンブロット分析。